

年度 2009 学期 後期	曜日・校時 火 2	必修選択 選択	単位数 2																														
授業科目/(英語名)	人間と文化 (東西科学文化交流史 I) / Humanity and Culture (Intellectual Cross History of science and culture between West and East I)																																
対象年次 1・2年次	講義形態 講義	教室																															
対象学生(クラス等) 全学部	科目分類 人文・社会科学科目																																
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 姫野 順一 /Eメールアドレス:himeno@nagasaki-u.ac.jp /研究室:姫野研究室 環境科学部 3階 /TEL:095-819-2722 /オフィスアワー:月曜日 10:30-12:00																																	
担当教員(オムニバス科目等)	勝俣 隆、川口敦子、柴多一雄、戸田 清、松田雅子、中西弘樹、吉田雅章、嶋津拓、正本忍、園田尚弘、連清吉、菅原潤、池田幸恵																																
授業のねらい/授業方法 (学習指導法) /授業到達目標 授業のねらい: この講義は第一に東洋と西洋における科学と文化の「知的交流の歴史」(Cross Intellectual History) を理解することをねらっています。第二にこの講義を通じて科学と文化の知的交流の歴史を理解することで、長崎の文化的な創造力や異文化交流における態度・倫理の形成をねらっています。第三に選択テーマによる最終レポートを課すことで自主性と思考力、判断力と表現力を身につけることをねらっています。 授業方法: オムニバス方式を採用し、さまざまな領域の研究者による異なった視点からの授業を実施します。 授業到達目標: 本講義はグローバル化時代における「科学の移転」と「多様な文化の交流」の意義を理解し、これを表現できる能力の養成を最終目標にしています。																																	
授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要): この科目では、東洋と西洋の科学と文化の交流史について総合的に学習します。長崎は地理的・地域的・歴史的特性により古くから大陸や東南アジア・南アジアさらにはヨーロッパと深い交流の歴史をもっています。この科目では第1に、このような長崎を起点とする中国、アジア、ポルトガル、オランダといった海外との交流ネットワークの歴史を学習します。第2に、西洋からもたらされた天文学・暦学・医学・工学・砲術・航海術・本草学といった「科学」の導入と交流について学習します。第3に、文字・辞書・文学・思想・宗教・習慣といった「文化」の導入と交流について理解を深めます。第3に、文字・辞書・文学・思想・宗教・習慣といった「文化」の導入と交流について理解を深めます。																																	
<table border="0"> <tr> <td>第1回 Face to West and Face to East (10月6日)</td> <td>姫野順一(環境科学部 教授)</td> </tr> <tr> <td>第2回 南蛮・紅毛と長崎 (10月13日)</td> <td>姫野順一(同)</td> </tr> <tr> <td>第3回 西洋科学の伝来(10月20日)</td> <td>戸田 清(環境科学部 教授)</td> </tr> <tr> <td>第4回 辞書の伝播 (10月27日)</td> <td>池田幸恵(環境科学部 准教授)</td> </tr> <tr> <td>第5回 オランダにおける日本語教育の歴史と現状 ～なぜオランダ人は日本語を学んできたのか～ (11月10日)</td> <td>嶋津 拓(留学センター 教授)</td> </tr> <tr> <td>第6回 教養主義と修養主義の相剋 ー西洋文芸の日本的受容のあり方についてー (11月17日)</td> <td>菅原 潤(環境科学部准教授) 柴多一雄(経済学部 教授)</td> </tr> <tr> <td>第7回 近世における情報の伝達(11月24日)</td> <td>柴多一雄(経済学部 教授)</td> </tr> <tr> <td>第8回 日仏交流史:今と昔(12月1日)</td> <td>正本 忍(環境科学部准教授)</td> </tr> <tr> <td>第9回 西洋文学は日本の古典文学に影響を与えたか?(12月8日)</td> <td>勝俣 隆(教育学部 教授)</td> </tr> <tr> <td>第10回 辞書の伝播(12月15日)</td> <td>松田雅子(環境科学部 准教授)</td> </tr> <tr> <td>第11回 ローマ字と活版印刷の伝来(12月22日)</td> <td>川口敦子(教育学部 助教授)</td> </tr> <tr> <td>第12回 本草学から自然科学へ(1月12日)</td> <td>中西弘樹(教育学部 教授)</td> </tr> <tr> <td>第13回 アルファベットの誕生と書物の成立 (1月19日)</td> <td>吉田雅章(環境科学部 教授)</td> </tr> <tr> <td>第14回 プロイセンの東アジア遠征 (1月26日)</td> <td>園田尚弘(環境科学部教授)</td> </tr> <tr> <td>第15回 文化的しっぽく(2月9日)</td> <td>連清吉(環境科学部教授)</td> </tr> </table>				第1回 Face to West and Face to East (10月6日)	姫野順一(環境科学部 教授)	第2回 南蛮・紅毛と長崎 (10月13日)	姫野順一(同)	第3回 西洋科学の伝来(10月20日)	戸田 清(環境科学部 教授)	第4回 辞書の伝播 (10月27日)	池田幸恵(環境科学部 准教授)	第5回 オランダにおける日本語教育の歴史と現状 ～なぜオランダ人は日本語を学んできたのか～ (11月10日)	嶋津 拓(留学センター 教授)	第6回 教養主義と修養主義の相剋 ー西洋文芸の日本的受容のあり方についてー (11月17日)	菅原 潤(環境科学部准教授) 柴多一雄(経済学部 教授)	第7回 近世における情報の伝達(11月24日)	柴多一雄(経済学部 教授)	第8回 日仏交流史:今と昔(12月1日)	正本 忍(環境科学部准教授)	第9回 西洋文学は日本の古典文学に影響を与えたか?(12月8日)	勝俣 隆(教育学部 教授)	第10回 辞書の伝播(12月15日)	松田雅子(環境科学部 准教授)	第11回 ローマ字と活版印刷の伝来(12月22日)	川口敦子(教育学部 助教授)	第12回 本草学から自然科学へ(1月12日)	中西弘樹(教育学部 教授)	第13回 アルファベットの誕生と書物の成立 (1月19日)	吉田雅章(環境科学部 教授)	第14回 プロイセンの東アジア遠征 (1月26日)	園田尚弘(環境科学部教授)	第15回 文化的しっぽく(2月9日)	連清吉(環境科学部教授)
第1回 Face to West and Face to East (10月6日)	姫野順一(環境科学部 教授)																																
第2回 南蛮・紅毛と長崎 (10月13日)	姫野順一(同)																																
第3回 西洋科学の伝来(10月20日)	戸田 清(環境科学部 教授)																																
第4回 辞書の伝播 (10月27日)	池田幸恵(環境科学部 准教授)																																
第5回 オランダにおける日本語教育の歴史と現状 ～なぜオランダ人は日本語を学んできたのか～ (11月10日)	嶋津 拓(留学センター 教授)																																
第6回 教養主義と修養主義の相剋 ー西洋文芸の日本的受容のあり方についてー (11月17日)	菅原 潤(環境科学部准教授) 柴多一雄(経済学部 教授)																																
第7回 近世における情報の伝達(11月24日)	柴多一雄(経済学部 教授)																																
第8回 日仏交流史:今と昔(12月1日)	正本 忍(環境科学部准教授)																																
第9回 西洋文学は日本の古典文学に影響を与えたか?(12月8日)	勝俣 隆(教育学部 教授)																																
第10回 辞書の伝播(12月15日)	松田雅子(環境科学部 准教授)																																
第11回 ローマ字と活版印刷の伝来(12月22日)	川口敦子(教育学部 助教授)																																
第12回 本草学から自然科学へ(1月12日)	中西弘樹(教育学部 教授)																																
第13回 アルファベットの誕生と書物の成立 (1月19日)	吉田雅章(環境科学部 教授)																																
第14回 プロイセンの東アジア遠征 (1月26日)	園田尚弘(環境科学部教授)																																
第15回 文化的しっぽく(2月9日)	連清吉(環境科学部教授)																																
キーワード																																	
教科書・教材・参考書	テキストや教材は講師から適宜提供されまた指示されます。																																
成績評価の方法・基準等	授業への積極的参加状況と毎回の小レポート(50%)、全講師の出題したテーマから1テーマ選択する最終レポート(50%)で評価されます。																																
受講要件(履修条件)																																	
本科目の位置づけ /学習・教育目標	他の歴史科目(科学史・日本史・西洋史・東洋史など)との関連で長崎の歴史をオランダやポルトガル、中国や東南アジアとの「科学と文化の知的交流史」を理解させる。/学習・教育目標:長崎で観光客に長崎の知的交流の歴史を語る能力をめざす																																
備考(準備学習等)																																	